



平成27年度(第33回)

土砂災害防止 全国の集い

命を守る土砂災害対策

～さくらんぼ県で考えるこれからのSABO(砂防)～

in 山形



パネルディスカッション

「土砂災害から命を守るために考えよう!」

コーディネーター／山崎 登(NHK解説主幹)

特別講演

「防災に役立つ天気予報活用法」

三ヶ尻 知子(気象予報士)

事例報告

「活かしてほしい私たちの土砂災害体験・取り組み」

報告者 山形県大蔵村 肘折地区自治会 代表者
山形県南陽市 小滝地区自主防災会 代表者
しらたか木の駅実行委員会 代表者

特別展示 UAV(無人航空機)、災害対策車両などの展示及びデモンストレーション(JR山形駅西広場)

一般参加入場無料

当日受付も可能ですが、収容員数に限りがあり聴講できない可能性があるため、事前申し込みをおすすめします。

申し込み方法はホームページをご覧ください。

山形県砂防・災害対策課ホームページ

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180010/tsudoji.html>

6月4日(木) 13:00~17:00

会場 山形テルサ(テルサホール)

主催 国土交通省、山形県

お問合せ先

「全国の集い」運営委員会事務局(山形県砂防・災害対策課内)
(電話)023-630-2225

後援 内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一社)東北地域づくり協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、山形県治水協会、山形県砂防協会、(公財)山形県建設技術センター、(一社)山形県建設業協会、(一社)山形県測量設計業協会、山形県地質土壌調査業協会、山形県市長会、山形県町村会、山形県砂防ボランティア協会、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会、(一財)山形県消防協会、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、ケーブルテレビ山形、エフエム山形

6月4日(木) 土砂災害防止「全国の集い」 CPD-CPDS認定講習対象

11:00~12:00 **連携行事** 平成27年度砂防ボランティア「全国のつどい」 **山形テルサ(アブロース)**

- 12:00 ■開 場 (ドアオープン) / 山形テルサ (テルサホール)
- ポスターセッション (60分)
- 13:00 ■開会式典 (50分)
- 挨拶: 国土交通大臣、山形県知事、山形市長
 - 土砂災害防止功労者表彰
- 13:50 ■パネルディスカッション (70分)
- 『土砂災害から命を守るために考えよう!』
- コーディネーター 山崎 登 (NHK解説主幹)
- パネリスト 海堀 正博 (広島大学大学院総合科学研究科 教授)
- 佐藤 誠七 (山形県白鷹町長)
- 安部 博之 (山形県砂防・災害対策課長)
- 安久津 俊幸 (気象庁 山形地方気象台長)
- コメンテーター 大野 宏之 (国土交通省砂防部長)
- 15:00 (休 憩) (20分)
- 15:20 ■特別講演 (30分)
- 『防災に役立つ天気予報活用法』
- 講演者 三ヶ尻 知子 (気象予報士)
- 15:50 ■事例報告 (70分)
- 『活かしてほしい私たちの土砂災害体験・取り組み』
- 司 会 阿子島 功 (山形大学名誉教授)
- 報 告 者 山形県大蔵村 肘折地区自治会 代表者
- 山形県南陽市 小滝地区自主防災会 代表者
- しらたか木の駅実行委員会 代表者
- コメンテーター 高橋 重美 (山形県砂防協会長・最上町長)
- 三ヶ尻 知子 (気象予報士)
- 17:00 ■閉 会 挨拶: 山形県県土整備部長

■開催趣旨

平成26年の8月豪雨は、全国で多くの土砂災害を引き起こし、中でも8月20日に広島市で発生した災害は、死者74名と平成に入ってから最も甚大といえる被害をもたらしました。

開催県 山形県においては、人的被害は発生しませんでしたでしたが、平成25年は56件、平成26年は29件の土砂災害が発生しており、人家や生活を支える農園等が大きな被害を受けたほか、一部地域では避難を強いられるなど、県民生活・経済に大きな影響を与えました。

日本全土において土砂災害の多発化、激甚化が指摘されるなか、平成26年11月土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(以下、土砂災害防止法)の改正が成立し、土砂災害防止に向けた国・都道府県・市町村の役割と義務がこれまで以上に明確化されました。いま、全国の砂防部局には、この改正を受け、砂防えん堤の整備などのハード対策及び土砂災害警戒区域等の指定などソフト対策を両面から、スピード感をもって取り組むことが求められています。

本年の「全国の集い」は、土砂災害防止法の改正を踏まえ、今後の砂防事業の推進の方向性や具体的な方策に関する知見の共有、意見交換を行なうとともに、山形県を含む東北地方でも増加の傾向を示す土砂災害の減災に向けた地域主導の取り組みについて紹介し、広く山形県民をはじめとする国民全般の土砂災害に対する警戒意識の向上に資することを目的として、6月1日から30日まで実施される土砂災害防止月間(運動テーマ: みんなで防ごう土砂災害)の主要行事の一つとして開催します。

18:00~19:30 **意見交換会** **メトロポリタン山形**

6月5日(金) 現地研修会 CPD-CPDS認定講習対象

※行程は変更になる場合があります。

A 肘折方面コース

08:30 JR山形駅出発→10:40 希望大橋→11:00 肘折砂防えん堤～肘折温泉街散策→11:50 肘折地すべり災害箇所→(昼食・休憩)→14:30 おいしい山形空港→15:30 JR山形駅

B 蔵王方面コース

08:30 JR山形駅出発→09:15 鳴の谷地 地すべり対策事業→10:15 蔵王川 火山砂防事業→(昼食・休憩)→13:00 蔵王御釜→15:30 JR山形駅→16:30 おいしい山形空港



希望大橋と肘折温泉街 A



肘折砂防えん堤(登録有形文化財) A



鳴の谷地 地すべり対策事業 B



蔵王川 火山砂防事業 B

◎参加申込み要領

ご聴講をご希望の方は、山形県砂防・災害対策課ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、FAX、e-mail又は郵送にてお申し込みください。

山形県砂防・災害対策課ホームページ

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180010/tsudoi.html>

4日のプログラム(ポスターセッション、式典、パネルディスカッション、特別講演、事例報告)は無料ですが、現地研修会、意見交換会には下記の費用が必要となります。

○6月4日 意見交換会 ¥6,000(消費税込)

○6月5日 現地研修会(A・Bコース共通) ¥5,500(昼食、保険料、消費税込)

※申込書による宿泊の手配も可能です。

参加登録締め切り 平成27年5月11日(月)

4日のプログラム(ポスターセッション、式典、パネルディスカッション、特別講演、事例報告)については当日受付も可能ですが、収容員数に限りがあり、聴講できない可能性があるため、事前申し込みをおすすめします。

《お問い合わせ先》

山形県砂防・災害対策課 電話023-630-2225
担当: 嶋田、五十嵐、加藤